

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道52号 甲西道路 <small>こうさい</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：山梨県南巨摩郡 <small>みなみこま</small> 鵜沢町 <small>かじかざわ</small> 鵜沢 至：山梨県甲斐市 <small>かい</small> 志田 <small>した</small>			延長	18.2 km
事業概要 国道52号は、静岡県静岡市から山梨県甲府市に至る幹線道路です。甲西道路は、国道52号の鵜沢町～韮崎市間の家屋連坦地区の交通混雑緩和、交通安全性の向上、農業、工業、商業の調和のとれた発展に寄与することを目的に国道52号のバイパスとして計画された延長18.2 kmの道路です。					
S62年度事業化	S63年2月都市計画決定 (増穂町大瀬～南アルプス市在家塚) H3年1月都市計画決定 (鵜沢町鵜沢～増穂町大瀬) (南アルプス市在家塚～甲斐市志田)	S63年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	760億円	事業進捗率	97.4%	供用済延長	9.8 km
計画交通量	9900 台/日				
費用対効果分析結果 (1)	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 3.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 104/247 億円 (事業費：18/162億円) (維持管理費：86/86億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 388/388 億円 (走行時間短縮便益：351/351億円) (走行費用減少便益：29/29億円) (交通事故減少便益：7/7億円)	基準年 平成16年	
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される） ・災害への備え（都道府県地域防災計画の第一次緊急輸送道路ネットワークに位置づけられています） 他6項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 甲西道路は、交通混雑緩和、交通安全、甲西工業団地等の地域開発の支援を図るために重要な役割を果たすことが期待されており、増穂町長をはじめとする関係2市2町の首長等で構成される甲西バイパス・中部横断自動車道建設促進連絡協議会より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 本事業区間と並行する中部横断自動車道の白根IC～双葉JCT間が平成14年3月に、南アルプスIC～白根IC間が平成16年3月に供用されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに9.8 kmを部分供用しており、H17年度中にさらに5.4 kmを供用予定。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 関係機関との協議や、埋蔵文化財発掘、一部の用地買収に時間を要しているが、平成18年度中に全線供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等 双田橋に耐候性鋼材を使い、塗装のコスト縮減を図っている。					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

(1) 事業全体の費用分析は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。
総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。